

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【公表番号】特表2011-501219(P2011-501219A)

【公表日】平成23年1月6日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-530047(P2010-530047)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/00 B

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年8月21日 (2013.8.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 2 】

吸収領域と通過領域と間の屈折率差が増加するにつれて、臨界角 θ_c は減少し、境界面に作用する光のより多くが境界面から反射される。この L C F はより高い輝度（つまりゲイン）を有するが、意図した視野カットオフ角よりも大きい角度で L C F の出射面を通る望ましくない光の透過がもたらされる可能性がある。場合によっては、これらの不必要な反射を制御するために、相対屈折率差を制限することが望ましいことがある。1つの態様では、本発明は、 $0.005 \sim 0.1$ などの小さい屈折率差、及び 3° 以下、又は 0.1° より大きく 3° 未満など小さい境界壁角を有する材料を含む L C F を目的とする。